



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

Eメール koichiyasui@yahoo.co.jp

前教会長夫妻の 思い出

3月は霊祭の月。お彼岸を控え、今は亡き御霊様に感謝の思いを寄せ、ご祭事や墓参を通して、お礼の真心を捧げさせて頂きたく存じます。

右の写真は、今から70年前の安井宗男先生と美代子先生夫妻です。祭員控用の二間が増築されて早々の部屋での記念写真です。この10年後に宗男先生は急逝し、美代子先生が50年近く教会長の御用を後継されました。

父である宗男先生が急逝するまでの10年間は、私が小学生から高校生までの成長期に当たり、多感な時期でもありました。私の目から見た父は、教会の御用を楽しんでいるようでした。御用で外出する時は、お結界裏の事務机に、懐中時計、財布、手帳、ハンカチなど次々と揃え、それをポケットやカバンに入れていそいそと出かけていきました。連合会や布教部、宗教教諭師などの御用の後、よく一杯機嫌で帰って来ていました。13人兄弟の一番上でしたから、高槻市や、守口市の弟さんたちの家では、よく宅祭を仕えていました。その人たちもお酒好きでしたから、きっとご祭事後はお神酒を頂きつつ、歓談していたのでしょう。めったに叱ることはありませんでしたが、私にとっては怖い存在でもありました。教会の御用以外の時は庭で野菜作りをしたり、風呂の薪を割ったり、たすき掛けで掃除をしたり、じっとしていることはありませんでした。夕刻の4時から30分ほどは、いつも一人で心中祈念をしていました。

「後始末、みんな知ってて忘れてる」とお広前に掲示し、父の亡くなった後も、長らくお広前に掲げられていたことを思うと、これが父の遺言だったのかと今になって思います。

その頃、母は増築されたこの部屋でいつも針



宗男先生 46 歳、美代子先生 37 歳のお正月

仕事をしていました。ある信者さんが着物の仕事をされていて、お参りの度に反物を持参され、それを縫って着物に仕上げるのが母のアルバイトでした。急ぎの仕事の時など、夜遅くまで縫物をしていました。子供4人と夫婦の6人暮らしで、生活は楽ではなかったと思います。

参拝者は今よりずっと多く、毎日20~30名は参拝され、月例祭の参拝もそれぐらいで、宅祭も月に2~3軒あり、春秋の大祭や霊祭時には百名近く参拝されていました。夫婦仲は良かったのですが、金銭的にはなかなか厳しかったと思います。

私は4人姉弟の一番下でしたから大学まで行かせてもらいましたが、姉たちの学齢期にはほとんど余裕がなかったと思います。父母にどれだけお世話をかけたかと思うと、何一つお返しできていないことを申し訳なく思うばかりです。その分、子や孫、周辺の人たち、また社会に向けて、できるだけ恩返しをさせて頂きたく願うものです。そして、世話になるすべてに礼を言う心を神様、御霊様へ向けて実意な生き方を進め、身代(財)と人間(信用)と達者(健康)の上に、共々におかげを受けてまいりたく願っています。

(教会長)

月例霊神祭後の布教部宣教

日時 2月16日（日）14時

講師 片江教会 山田一郎 先生

講題 『お礼の心を深める』



父はお道の御用一筋に 100 歳の長寿を頂き、2 年前に亡くなりました。歳を取ると言いますが、歳はおかげを受けて、頂くものだと思います。私たち夫婦は結婚して 25 年目に揃って金光学院に入らせて頂き、学院で銀婚式を祝い、金光様にお礼のお届をさせて頂きました。

布教部で宣教に出かける時は、父に倣わせて頂こうと、形見のネクタイをつけて、御用をさせて頂いています。布教部講師としてある教会に出講した時、ネクタイを忘れて帰ってしまいました。その教会から電話がかかってきてそれを知り、その教会長が亡くなられたところだったので、ネクタイを受け取りに行く時、何かご霊前にお供えさせて頂こうと思いました。私はコーヒーが好きで千日前の由緒あるコーヒー店でコーヒー豆を買い、それをご霊前にお供えさせて頂き、ネクタイをもらって帰りました。

12 月の御本部報徳祭に参拝した折、偶然にその教会のご家族とお会いしました。「先日はわざわざにお供え、有難うございました。生前の教会長はコーヒーが大好きで、先生はそれを知っておられたのですか」と尋ねられ、大変喜んでくださいました。偶然のことで、私の方が恐縮しました。偶然という成り行きに、神様のお働きあればこそと、お礼を申し上げたことでした。

信心させて頂く者は、お礼のサンドイッチが

大事だと思います。お結界でのお届では、まず無事に参拝できたことのお礼、次にお願い事を申し上げ、ご理解を頂き、最後にまたお礼を申し上げる、そのようにありたいものです。

父が亡くなったのは 2 年前の 7 月 18 日、告別式は 7 月 21 日でした。父は野球が大好きで、その日は金光大阪高校と金光八尾高校との試合がありました。また、岡山の金光学園高校野球部が 9 回で逆転し、勝ったのもこの日でした。さらにこの日は前教主金光平輝先生のご逝去の日でもありました。偶然という成り行きの中に、ご神意を感じ、有難く思わせて頂いています。

お結界は、難儀なことが集まるくぼいところ です。教祖様の後を継承された二代金光四神様は、30 歳から 10 年間、取次の御用に立たれ、40 歳の若さでお亡くなりになりました。その後を、三代金光摂胤様が 13 歳で継承され、「初めのうちは、辛うて辛うてよく泣きましたがなあ。親様の教えを守らしてもらって、泣く泣く辛抱しいしいに座っとりましたら、欲しいものも、考えることもいつの間になくなってなあ。有難うて有難うてならぬようになり、なんぼうお礼を申しても、足りませんのじゃ。お礼の足りませぬお詫びばかりしておりますが、もったいないことであります」とおっしゃっています。

お結界で自分の願いを聞き届けて頂き、それが叶うことだけがおかげではありません。電波がそこら中に飛びかっているように、いわばお結界はアンテナです。しかし、自分がスイッチを入れ、周波数を合わせなくては、受信できません。まずは、「金光様！」とお取次を願い、心のアンテナを高く上げ、神様に心を向けてスイッチを入れ、周波数を合わせるように、ここまでの無事にお礼申し上げ、ここからの立ち行きを願い、成り行きを大切にする生き方を進めること、これがおかげを受けていく道だと思います。

本日は、有難うございました。

生きることにすばらしい

どの宗旨もくさすことはない
みな 天地の神様の氏子である

（金光教祖理解Ⅱ 佐藤幸治郎の伝え 14）

自分の信仰が、有り難いとか尊いという思いを持つことは結構なことです。同時に他の信仰を引き合いに出して、くさすということがありがちです。教祖様は、参拝者同士の間で、そうしたことがあると、非常に厳しく戒められました。



本来、人が助かるために生まれた宗教が、対立、紛争、戦争の原因となってきた歴史があります。とても残念なことです。

これからの人類にとって大切なことは、「共生」、共に生きるということです。そのためには、自らと異なる他者を認める心と姿勢を、大切にする必要があります。自らが信ずる信仰、宗教の教義を大切にすると同じように、他の信仰、宗教も認めていく寛容性が、これからの世界人類の真の平和にとって不可欠です。幸いなことに、近年、宗教の枠を超えた平和への努力が、宗教者同士の交流や協力によって、進められつつあります。

人が助かることさえできればよい、という教祖様の言葉に示された信仰、宗教本来の使命を根本に、教義、歴史、儀礼の違いを超えた宗教協力を、推し進めていことが願われます。

（天王寺教会発行『生きることにすばらしい』第2集より抜粋）

令和七年 教会の願い

金光様、日々有難うございます
和らぎよろこぶ心を土台に
辛抱強く信心の稽古に努め
身代、人間、達人の上におかげを受け
世のお役に立たせて下さい

信徒会からのお知らせ

- ①令和6年度教会活動報告
- ② 同 信徒会決算報告
- ③令和7年度教会活動計画（案）
- ④ 同 信徒会予算（案）

以上4つの案件につき、2月17日現在、書面で9名より承諾の回答を頂きました。1月19日の総会では8名が出席し、全会一致で可決しており、合わせて17名で、会員数22名の過半数の賛同を頂き、有難うございます。このことをお知らせしますと共に、この上ともご協力のほどお願い申し上げます。

春季霊祭並びに勧学祭

春分の日が近づくに連れ、次第に穏やかに、暖かくなってまいりました。春分の日の祝日に、春季霊祭並びに勧学祭を下記のとおり奉仕いたします。歴代教会長をはじめ、教徒、信徒の御霊様方のご遺徳を偲び、お礼の真心で祭典を仕えさせて頂き、併せて進級進学される生徒、学生の皆様の心身健康と学業成就を願わせて頂きます。

また、前日（3月19日・水）の午前9時より準備の御用を進め、10時30分より石津の教会奥城（おくつき）にて墓前祭を執り行います。繰り合わせご参拝のほど、お知らせ申し上げます。

記

日時：3月20日（木・春分の日）
14時より祭典奉行

※ 前日の御用奉仕
3月19日（水）9時～11時半
墓前祭は10時30分より



3月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	土	月頭祈願祭・14時		17	月		
2	日			18	火		福祉委員役員会 10時
3	月			19	水	霊祭準備・9時	
4	火		東堀教会宣教 14時	20	木	春季霊祭並びに 勸学祭・14時	
5	水		布教部会・13時 於：大阪センター	21	金		
6	木			22	土		
7	金			23	日		地域協働協議会 10時
8	土	月例金光大神祭・14時 あと、霊祭打合せ会		24	月		
9	日		福祉委員指導者研修会 10～12時	25	火		だるまっこ 9時
10	月			26	水	みのり編集会議 10時40分	
11	火			27	木		布教部講師会 13時半
12	水		そよかぜ運営委員会 14時半	28	金		民生委員大会 13時半
13	木			29	土		自治会後期総会 19時半
14	金		病院エコー検査 9時	30	日		天下茶屋教会宣教 10時半
15	土			31	月		
16	日						

3月のご霊神様

平田ツル姫乃霊（平成1年3月10日帰幽）
 早子ステ乃霊（昭和55年3月13日帰幽）
 今豊吉大人乃霊（昭和20年3月19日帰幽）
 大西スエノ姫乃霊（平成3年3月20日帰幽）

興テイ姫乃霊（昭和55年3月11日帰幽）
 角谷吉一乃霊（昭和61年3月13日帰幽）
 加藤正也翁乃霊（平成10年3月19日帰幽）
 安井ミネ姫乃霊（昭和27年3月30日帰幽）

3月のお誕生

外園真理様、亀口恵子様、増満健一様、柴田陽介様、坂口君子様、
 柴田文子様、上田花子様、高田友恵様、富山紀代子様、加藤明代様、
 中岡智子様



みなさま おめでとうございます